

【評価実施概要】

事業所番号	2092400023		
法人名	株式会社 ふれあいの里		
事業所名	ケアセンターふれあいの里		
所在地	上伊那郡箕輪町大字中箕輪字並木下14432 - 1 ( 電 話 ) 0265 - 71 - 1121		
評価機関名	有限会社 エフワイエル		
所在地	松本市蟻ヶ崎台24 - 3		
訪問調査日	平成20年1月30日	評価確定日	

【情報提供票より】(平成20年1月3日事業所記入)

( 1 ) 組織概要

開設年月日	平成 18年 9月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人, 非常勤 0人, 常勤換算	7,1 人

( 2 ) 建物概要

建物構造	準耐火構造平屋 造り		
	1 階建ての ~ 1 階部分		

( 3 ) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	21,500 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

( 4 ) 利用者の概要( 1月 5日現在 )

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護 1	4名	要介護 2	1名
要介護 3	2名	要介護 4	2名
要介護 5	0名	要支援 2	0名
年齢	平均 80 歳	最低 71 歳	最高 86 歳

( 5 ) 協力医療機関

協力医療機関名	福島病院 伊那中央病院 千葉歯科
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

(日々の支援)利用者が安心して日常生活が送れるよう、利用者一人ひとりの役割を考えながら、家庭的な環境での生活を提供しています。  
(利用者の尊重)利用者の尊厳を守ることを全職員で共有している。  
(サービスの質の向上)定期的に運営推進会議が開催され、評価内容の報告及びフィードバックもなされ、改善もされています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価の要改善事項は、事業所として具体的な取り組みが確認できる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者を中心として、評価に取り組んでいる様子が窺われる。今後管理者が、「地域密着型サービスとその評価の意義や目的」を、全職員へ周知する事を期待したい。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>利用者家族・地域代表・行政関係者等の参加による運営推進会議が定期的にかかれている。そこでは外部評価の結果も議題として取り上げ、会議内容をスタッフへ落としこみ、事業所のサービスの質の向上に生かしていることが確認できます。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>運営推進会議の家族代表の参加・事業所主催の家族会において、要望・意見をくみ取る体制はできており、毎月のグループホーム通信や個別連絡等により、利用者の日常的な生活の様子を細かく知らせている。管理者・スタッフへ、利用者・家族が相談・苦情等をしやすい仕組みを、今後更に検討してみたいかかと思えます。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>積極的に地域の各種行事に参加しています。今後、地域・住民が「グループホームへ訪問しやすい」体制・仕組みを期待します。</p>

## 2 . 調 査 報 告 書

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域生活への支援と、家庭的な環境のサービスを掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員が理念を意識し、ケアに取り組めるよう、理念の掲示や会議での復唱を行っている。		事業所の理念を分かりやすく、簡単な言葉に表現することによって、職員間の共有を更に進め、具体化していく取り組みを期待したい。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域主催の高齢者の集まりや、小・中学校の行事、地区の運動会等に積極的に参加し、地域との親睦を深めている。		利用者の参画の元に計画を進め、地域へ出て行く交流を今後図ることも必要と思います。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価について職員全員が理解・確認できるよう取り組んでいる。 外部評価の結果を踏まえ、具体的に改善し、質の確保が得られている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的な運営推進会議の開催で、出された意見を元に職員で話し合い、サービス向上に活かしている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者とは定期的に情報を共有し、必要に応じ協働している。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、グループホーム通信の他に、入居者個人の写真付き(入り)ニュースレターを発行している。 ホームでの本人の生活の様子が分かり、家族の安心の元となっている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や運営推進会議(家族代表がメンバーに含まれる)で意見・不満・苦情を言える機会をつくっている。 又、家族会に参加できない家族には、意見等をくみ取る体制をとり、サービスに反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	個人面接にて、ストレス、悩みを聞く体制をとり、異動等を最小限に抑える努力をしている。		職員の固定化を図り、顔馴染みの職員での継続的なケアを期待したい。 又、職員の交代時は引き継ぎ等を十分に行い、入居者・家族が安心して移行できるような配慮が望まれる。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じた育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員が毎月の目標を立て、その達成に向けての育成を行っている。 内部での研修も定期的実施している。 外部研修参加者は、月1回の全体会議で報告し、全職員が共有している。		一般職員がもっと外部研修に参加できる機会があれば、更なる質の向上が期待できるものと思われる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	広域の連絡会に参加し、他事業所との交流の機会を設け、連携を図っている。		利用者を含めた相互訪問等も、今後検討されると良いと思います。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービス利用前に本人・家族にホーム見学と説明を行い、安心・納得の上で利用開始となっている。 場合には、併設のショートステイを利用し、馴染みの関係をつくりながら、段階的な調整も行っている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に過ごす中で、本人の思いを共有し、支える関係がつけられている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の生活の中で、職員は本人の「つぶやき」を拾うことに努め、その人らしい暮らしができるよう支援している。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族からも思いや希望を聞き、意見を出し合い、本人本位の介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月ごとの介護計画の見直しと共に、本人に状態変化がみられた時は、実情にあったケアができるよう介護計画の立て直しを行っている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>特別な外出や、移送の支援を行っている。嘱託医の往診や24時間体制が整っていて、家族の満足を得ている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診の際は看護師が情報提供書を提出。かかりつけ医にホームでの本人の情報を提供し、連携が密となっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期には、本人、家族の意向を踏まえての事業所の支援方針について話し合っている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	会議の中でプライバシーについて勉強し、意識を高めている。 又、介護計画に対応の配慮について盛り込み、確保が図られている。		プライバシーの保護と個人情報の保護について、全職員でのミーティング等を期待します。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の流れはあるが、出来る限り本人の希望に添った過ごし方の対応をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の買物から、準備・後片付け等、出来る範囲で張り合いとして力を発揮している。 又、入居者が育てた野菜を皆で食することは、ホームの特性となっている。さらに本人の希望で外食等柔軟な支援も行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者に合わせた個々の入浴方法の一覧表があり、職員全員が統一した支援で、安全でスムーズな入浴となっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その人に合った役割りを活かすことで張り合いとなっている。特に畑での野菜づくりは、楽しみの一つである。 又、併設施設でのレクリエーション参加等、気晴らし・交流となっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ウッドデッキから出られる畑や、周辺の散歩で、五感刺激となっている。 又、買物や馴染みの美容院など、積極的な外出支援を行っている。		固定化しないように、気楽に安心して行ける、バラエティーに富んだ外出先の検討も進めてみてはいかがでしょうか？
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかける必要のない支援が行われている。		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的な防災訓練の際、地域の消防団とは、施設の構造や入居者の状態を知ってもらい、いざという時に確実な避難誘導が出来る体制をとっている。		近隣の方々の参加、協力が得られる方法も検討して欲しい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は、スタッフが考えるが、栄養士のアドバイスを得て、バランスのとれた食事提供をしている。食事摂取量、水分量のチェックと、月1回の体重測定で状態観察を行っている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は、広いスペースと季節感のある活用で居心地よく、安心の場所となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れた物や、馴染みの物を置き、その人らしい落ち着ける居室となっている。		

 は、重点項目。